

広報物ヒアリング（子ども）の実施結果について

作成している「(仮称)町田市子どもにやさしいまち条例」の広報物について、広報物をより良いものとするために、子どもたちへのヒアリングを下記のとおり実施しましたので、ご報告いたします。

1 概要

(1) 子どもセンターまあち

【日 程】2023年8月19日（土）

【時 間】1時間10分程度

【参加者】21名（小学生18名・高校生2名
・大学生1名）



(2) 子どもセンターばあん

【日 程】2023年8月21日（月）

【時 間】1時間15分程度

【参加者】10名（中学生7名・高校生3名）



2 ヒアリング方法

4グループ程度に分かれ、実際に広報物（案）を見てもらい、書き込みをしてもらったり、思ったことを言ってもらったりしました。

3 ヒアリング対象の広報物

(1) 子どもセンターまあち

リーフレット【小学生向け】【中高生向け】【大人向け】※、副読本※、ガイドブック※

※高校生・大学生のみ

(2) 子どもセンターばあん

リーフレット【小学生向け】【中高生向け】【大人向け】、副読本

4 子どもたちの主な意見

(1) リーフレット【小学生向け】

- 表紙の文章が長いのが嫌だ。
- 表紙の量が多いので、読みたくない。
- 表紙の背景がほしい。白だとさびしい。
- 表紙のイラストは、小学生だってわかるアイテム入れてほしい。もっと楽しそうにしてほしい。
- 4コマ漫画は読みたくなると思う。
- 4コマ漫画はキャラクターにもっと動きがあった方が良い。
- 4コマ漫画とリーフレット全体のキャラクターを合わせた方が良い。
- 4コマ漫画があると、そこに目がいってしまって、それ以上他のところを見なくなってしまうかもしれないので、4コマ漫画で4つの権利の説明した方が良い。
- 「4つの権利」の背景が白で目立たない。
- 文字が多い。イラスト増やしてほしい。
- 権利の説明が箇条書きなのは良いと思う。
- イラストを見て、文字を見るので、イラストからイメージしやすい内容を、説明で一番上に持ってくると良いと思う。

(2) リーフレット【中高生向け】

- 表紙が文字だらけで面白くない。
- フォントが硬くて、難しいことが書かれていそうな感じがする。
- 中高生向けの構成の方が小学生向けより読みやすい。
- 4つの「子どもの権利」をもっと大きく載せる。
- 「守られる権利」の黄色が見にくい。
- 「子どもの権利」とか重要だと思われる部分の字が小さい。
- 各権利の説明の中で重要な単語については文字を大きくしたり強調したりした方が良い。
- カワセミのコメントの中はわかりやすい。
- 文字量が多い。高校生ならわかると思うけれど、中学生は面倒と感ずるのではないか。

(3) リーフレット【大人向け】

- 表紙は小学生向けと文章量が逆だと思う。
- 2～3 ページは、これくらいの量を小学生向けにした方が読みやすいと思う。大人向けとしては少ないのではないか。
- 4 ページ目は難しくても良いと思う。



(4) 副読本

- 子どもセンター案内は、文字ではわからない。地図が読めない子どももいる。
- ワークシートについて、「友達の意見を聞いてみよう」という感じが良いと思う。「子どもにやさしいまちとは？」の質問は良いと思う。

(5) ガイドブック

- 細かい体裁まできれいに揃えてほしい。
- 文字と花が被っている部分が読みにくい。